



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第414号

2022年11月27日より実施される ミサ式次第の変更箇所について（第4回）

『新しい「ミサ式次第と第一～第四奉献文の変更箇所」カトリック中央協議会 p32～

感謝の典礼

※これまで「感謝の典礼」はミサの中心部分であるとよく言われてきましたが、中心部分はミサ全体です。すなわち、キリストがわたしたちのうちにおられる「感謝の祭儀そのもの」が中心だということです。間違っても「ことばの典礼」が軽んじられてはいけません。

<祭壇の準備、奉納行列>

「奉仕者はコルポラーレ、プリフィカトリウム、カリスとパラ、ミサ典礼書を祭壇に準備する。」

※「コルポラーレ」とはご聖体を置くために祭壇上に広げる布のことです。語源的に「コルプス」（「体」）から生まれた言葉なので、キリストのからだを包むという意味があります（そのために畳みます）。

※「カリス」とはミサにおいて最後の晩餐で主イエスが使用した杯を意味するものです。特別に聖別されたものなので代替りのものを使うことは許されません。

※「パラ」とはご聖体をのせて運ぶ皿状のもので、普通、カリスとセットになっています。なお「チボリウム」と呼ばれる容器もありますが、普段はご聖体を聖櫃安置する際に用いられています。

「信者は、感謝の祭儀のためのパンとぶどう酒、また、教会と貧しい人を助けるためのその他の供え物を捧げることを通して、自らの参加する心を表すことが勧められる。」

※大切なことは、“自らが参加する心を表すため”に祭壇に「パン」と「ぶどう酒」とともに他の奉納物も捧げることができるということです。それは、主イエスの御からだと御血に聖変化する「パン」と「ぶどう酒」とともに、神に捧げられ、十字架の上であがないのいけにえとともに振る舞われます。わたしたちが捧げるものが主イエスご自身と結び付けられるため、ミサは参加者がいてこそそのものと言えるのです。

＜奉献文につながる祈りへの招き＞

●司式司祭：「皆さん、ともにささげる子のいけにえを、全能の父である神が受け入れて下さるよう祈りましょう。」

会衆：「神の栄光と賛美のため、またわたしたちと全教会のために、あなたの手を通しておささげするいけにえを、神が受け入れて下さいますように。……。」 (p.34)

※この後、奉納祈願につながりますが、日本の教会ではしばらく沈黙のうちに祈ることで統一されます。

～奉献文～

※奉献文は『ローマ・ミサ典礼書の総則』78番に「祭儀全体の中心であり頂点」とあります。ラテン語で<Prex eucharistica> (感謝の祈り)と言い、ミサは、この「eucharistica」が指す「感謝」、「賛美」によって捧げられているのです。主の祈りからの<交わりの儀>が始まる前までが奉献文であり、四つの形式があります。今回、正式に日本語訳として承認された式文のうち、この四つの奉献文も含まれています。

(※ここでは第二奉献文を参考にする)

●司式司祭：「主は皆さんとともに。」 会衆：「またあなたとともに。」

司式司祭：「心をこめて、」 会衆：「神を仰ぎ、」 司式司祭：「賛美と感謝をささげましょう。」

会衆：「それはとうとい大切な務めです。」 (p.47)

※これまで司式司祭がことばを続けていましたが、これからは会衆の応答を伴う形となります。これは司式司祭のことばに会衆が賛同することを意味していて、ともに賛美と感謝を捧げる祭儀であることを認識させることとなります。

＜感謝の賛歌＞

●「聖なる、聖なる、聖なる神、すべてを治める神なる主。主の栄光は天地に満ち。天には神にホザンナ。主の名によって来られる方に賛美。天には神にホザンナ。」 (p.47)

＜聖別のことばに続く記念唱＞

●司式司祭：「信仰の神秘。」

会衆：「主よ、あなたの死を告げ知らせ、復活をほめたたえます。再び来られるときまで。」 (p.50)

※これまで会衆は「主の死を思い、復活をたたえよう。主が来られるまで」と応えていましたが、「死を告げ知らせる」という意味が含まれていないかのような印象を与えるため、明確に「死を告げ知らせる」ことばを唱えることになりました。

次号に続く

旅の話 (9)

岩本光弘

私の国内での旅では広島教区で行われている「津和野への旅」が代表する旅です。以前も「からしだね」に書きましたが、水巻教会からも何人も参加されました。広島教区の肥塚神父から誘われたことが参加のきっかけですが、最初は軽い気持ちでの参加でした。

明治4年に浦上の信者が津和野へ流刑になった「浦上4番崩れ」という迫害のときの苦難の道を歩く旅でした。浦上の信者さんたちは各地へ流刑になったのですが、津和野へ流刑になった人たちが一番ひどい目にあい36人の殉教者が出ています。

広島県廿日市市の海岸に上陸して、津和野まで五つの峠をこえて三日間歩かされたという悲惨な苦しみの道を、受難者の心を感じて同じ道を辿って歩く巡礼の旅です。

最初に参加した時は軽い気持ちでの参加でしたが、さすがに100kmを三日間で歩くのはかなりハードでした。山歩きが趣味の私でも、ほとんどが舗装されている道を歩くのは大変でした。私も元気なころでしたが廿日市の市街地から佐伯町への登坂はかなりハードでした。

前日は肥塚神父が居る観音町教会に泊まりましたが、広島の友人が来て教会の台所で遅くまで酒を飲んだため二日酔いで行きました。この時一緒に酒を飲んだ友達は、その後NGOの活動のためにエルサレムに行きました。私がエルサレムに行ったときはホテルまで迎えに来てくれ、アラブ料理を食べに行って楽しい時間を過ごしました。

この巡礼には毎年参加することになり広島や長崎に友人がたくさんできました。特に長崎の純真聖母会のシスターとは親しくさせてもらいました。この修道会は普段から歩く巡礼をたくさんしていて、修練期のシスターは必ず津和野への旅に参加することになっています。一緒に志願生も毎年参加していて、中学生・高校生の志願生が毎年何人も来ます。この中からシスターが生まれていて、3年前の2月には終生誓願式に招待されました。この時の祝賀会では津和野への旅に来ているシスターや志願生たちと再会し楽しい時間を過ごしました。

悲しいこともありました。いつも一緒に歩いていたシスターが癌になり入院しているという連絡があり長崎の病院に見舞いに行きました。見舞いに行った二週間後に意識がなくなり一カ月後に亡くなりました。彼女は毎年参加者にいろいろなものを作ってきてくれました。私のバッグにはシスターが作ってくれたロザリオ入れがいつも入っていて、飾りのシスター人形は私の愛用のリュックについています。

10年前から巡礼のバックアップをする広島地区のスタッフが引退していなくなりましたので肥塚神父から頼まれて同行支援の責任者になりました。あるとき昔から来ているシスターから「岩本さんも古いですね。いつから来ていますか」と言われて気が付いたのですが、参加者の中で巡礼を始めた肥塚神父と私が一番古いことに気が付きました。

肥塚神父も今年は金祝です。私も巡礼のお世話をするには歳を取りすぎましたが、幸いにも広島地区に後継者が出来ましたので、バトンタッチをすることができました。

となりひと

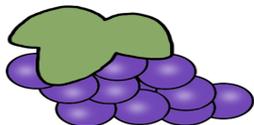
Tran Xuan Danh, ザインさんです。

今年8月に来日したばかりのザインさんは、今宗像の水産加工会社で技能実習生として働いています。辛子明太子を製造する会社です。

未だ日本語がよく理解できないし、話すことも難しいです。スマホやiPadなどのモバイルがコミュニケーションの手段です。(以上インタビュー)

毎週日曜日のミサが終わって、ベトナムの友人と話したり、歌の練習をする時を楽しみにしている様です。

これからも気軽に話しかけて、日本の文化を学び、生活習慣に早く慣れますように皆さんの応援をお願いします。



教会学校の取り組み



9月25日ミサ後、「こころの会」のBR(ブルーレイ)上映会があり、教会学校として参加しました。

この日上映されたのは、「祖国への祈り 在日ウクライナ人の戦争(後編)」でした。





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 10月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

<水巻聖母幼稚園>

2学期が始まり、新しく6名が入園しました。お部屋のお兄さん、お姉さんと楽しい毎日を過ごしています。お部屋では、夏休みの思い出を、お友達と嬉しそうに話している姿があり、楽しい夏休みになりました。

運動会の練習も始まり、顔を真っ赤にしなが、神様から頂いた心と身体を使って、たくさんのことに挑戦しています。自分が選んだ種目をお友達と力を合わせて、練習に励んでいます。

今年の運動会のテーマは「力を合わせて前に進もう」です。運動会本番も頑張ります。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

<マリア子どもの家>

9月になり、朝夕涼しい風を感じるようになりました。水遊びも終わり、畑活動のあとは幼稚園の園庭に移動し、滑り台やジャングルジムで遊びます。



最近、手押し車や引き車に乗せていた3kg、5kgの砂袋を降ろし、人を乗せて押したり引いたりするのが流行り出しました。確かに、砂袋は「ありがとう！」と言ってくれませんか。

運動会の練習「駆けっこ」も始めました。1歳児さんは直線、2歳児さんは円周を走ります。

スポーツの秋！さあ、バッタやトンボに倣ってカ一杯身体を動かしましょう。



TEL : 050 5212 7759
HP : マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家
園長 水口 由美
教職員 一同

委員会等報告

2022年9月分

9月度小教区委員会 9月4日

1. 行事予定

- ・10月 2日(日) 小教区委員会
- ・10月 9日(日) 新しいミサの式次第のための研修会③(教会学校を兼ねる)、聖書の分かち合い。
18時～ベトナム語ミサ
- ・10月16日(日) 大掃除(ワックスがけ)
- ・10月23日(日) 教会学校・こころの会
- ・11月 1日(火) 諸聖人 9時半～ミサ
- ・11月 2日(水 死者の日) 9時半～ミサ
- ・1月 3日(木) 神学院祭 2022
(福岡カトリック神学院にて)。

2. 議題

(1) 各委員会報告

①納骨堂委員会

・納骨堂内のカーテン、イエス像のご絵を取り替えたい(12月までに行きたい)。

②広報委員会

・「からしだね」に載せるため、屋根の葺き替え工事に関する記事を岡部氏に依頼している。

③営繕委員会

・屋根の葺き替え工事は工期内に完了(尖塔の照明器具も交換済み)。鐘楼の設置完了。
・排煙機能の回復について。排煙装置自体の不具合が判明したので、工事を依頼中。
・壁紙が痛んでいるところがあるので交換する(特に納骨堂)。

④冠婚葬祭の会

・8月28日、拡大委員会を開き、連絡手順

の確認、奉仕内容について申し合わせをした(議事録も配布)。

・9月11日、新しいミサのために研修会后、典礼用具の確認、整理行う。

⑤典礼委員会

・鐘楼の設置完了を受け、典礼委員会として鐘を鳴らす人を依頼することとする(ミサ開始時間の5分前に鳴らす)。

・9月11日、10月9日、11月13日(月の第2日曜日)のミサ後、中断していた待降節から適用される新しいミサの式次第についての研修会を行う。「ともにささげるミサ」をもとに作成していただいたしおりも活用する(9月11日に各自に配布)。

(2) 全信徒の名簿整理について

・敬老の祝いの対象となる方々(75歳以上)の人数把握のため、各地区より対象者の名簿を提出していただいたが、これを皮切りにして全信徒の名簿を整理する(教会に保管されている「信徒籍名簿」と照合させるため)。ついでに、全信徒名簿を整理して最新版のものとするために、各地区それぞれの名簿を管理している地区委員と協力下さっている方と主任司祭とで照合作業を行う(そのためには、一旦、各地区で管理している名簿をすべて集める必要がある)。作業日時は主任司祭と調整して地区ごとに作業を進める(10月末までには終了したい)。9月4日現在、中間・吉田・梅ノ木、芦屋、高須・青葉、遠賀の各地区の名簿整理は終わっている(残りは赤

間、海老津、折尾地区)。

・これまで作業してきたなかでも連絡が取れなくなっていたり、逆に連絡が取れるようになったりするケースがある。地区委員には負担をかけるが、引き続き、意義あることとして続ける。

・連絡の取れない信徒(世帯主である、なしに関係なく)であったとしても、各種手続きのために籍を残しておく必要があるため、すべて“不明者”として各地区の信徒名簿の「不明者欄」に加える。

(3) その他

・アンケートの回答をもと、8月度の小教区委員会にて提起した『福岡教区 宣教司牧方針』を受けて”の諸活動の基本路線に基づき、各自、各グループ、各委員会で意識付けをして

実際に活動を行う。※諸活動についての基本路線(6つ)については掲示板に掲示済み。

＜決定事項＞

・抱樸支援のために炊き出しを10月14日(金)に行う。

・各地区の信徒名簿の整理と呼応して、9/11より“カトリック教会における各種手続きや案内等について”を準備し、逐一、各自が持ち帰れるようにレターボックスを準備する。また、内容については以前行っていた「大人の教会学校」の時間に説明をしていくこととする。

・2023年1月～3月にかけて地区集会を開けるようにするため、各地区で議題に挙げるべきことを10月度の小教区委員会で検討する。



営繕報告

2022/09/06

令和4年度、水巻教会最大のプロジェクト「大屋根改装張替え工事」が、7月25日より始まりました。年ごとにすごさを増す、酷暑の中での工事でした。

作業される方の健康と安全が、一番心配される中、順調に工事は進みました。特に、古い屋根を外して、新しい屋根材を乗せる時のタイミングは、作業者によれば、天気の崩れ、雨が降る事態が起きることに気が気でなかったということでした。幸い、今年は北九州地方に大雨が少なく、台風も直接関係することもなく、大いに助かったとのことでした。

また高所作業のために今回の工事に合わせて、排煙窓の復旧工事、聖堂尖塔の照明器具のLED化、電源の張替え工事、足場を利用した鐘楼の吊り上げなども併せて行いました。

作業される方の休憩場所として、信徒会館使ってもらおうよう準備していましたが、表の車庫横の小さな花壇の桜の木陰がきに入って、休んでおられたのが印象的でした。

暑い中での工事に、関係者の方々に感謝申し上げまして、報告を終わります。

営繕委員長 岡部記

10月のおしらせ

★豊田神父様へのお礼献金★

8月28日(日)のミサは、以前神学生として水巻教会に来ていた、豊田神父様の司式でした。豊田神父様へのお礼献金として、38,730円ありましたので、当日神父様にお渡ししました。

★新しいミサの式次第のための研修会★

日 時：10月8日(日)ミサ後

11月待降節から、ミサの式次第が変わります。スムーズに新しい式次第に移行できるように、ぜひ、参加して勉強しましょう。

★教会ワックス掛け★

日 時：10月16日(日)ミサ後

ミサ後に、教会聖堂と信徒会館のワックス掛けを行います。たくさんのお手が入りますので、皆様の参加をお願いします。

★こころの会★

日 時：10月23日(日) 10:40～

テーマ「栄光の地 ローマ」(前編)

※今月は紙面の関係で目次がありません。

ホームレス支援炊き出し

日 時 10月14日(金) 10時から

場 所 水巻教会 信徒会館

お弁当110食を作ります。おかず数品を準備し、ご飯と一緒にパックに詰めます。

お手伝いをしていただける方は「ホームレス炊き出し協力者」聖堂後方の用紙に、お名前を記入してください。

*出来上がったお弁当は、炊き出し拠点の小倉勝山公園で配食されます。

NPO 法人抱樸（ほうぼく）への支援活動

水巻教会は外に出向いて行く教会、宣教する教会として、NPO 法人抱樸が「出会いから看取りまで」と掲げる伴奏型支援活動に協力しています。

<抱樸支援会>

